

デルタ総研だより

interview

伊藤
敏喜モバイルシステム部
2課 課長代理

飲食業界からIT業界へ。異色の経歴を持つ伊藤敏喜は、いかにして未経験からチームリーダーへと成長したのか。前職の対人スキルを武器に変え、メンバー離職の過去を乗り越えて掴んだ、相手に寄り添う対話の本質。挑戦を続ける伊藤の姿から、キャリアを切り拓くヒントを探る。

飲食業界から通信の世界へ。
予期せぬ転機が拓いた道

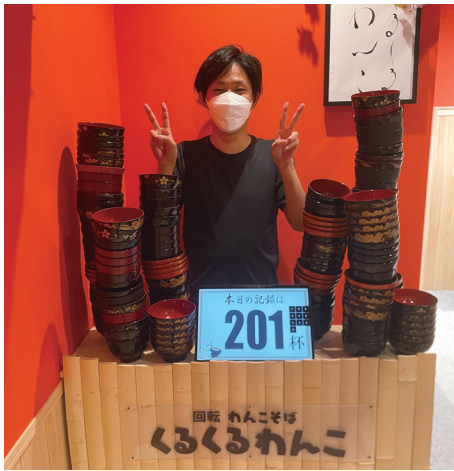
伊藤が株式会社デルタ総研の門を叩いたのは2019年。それまでは飲食店の責任者として現場を切り盛りしていた。全くの異業種への挑戦は、いくつかの偶然が重なって生まれた決断だった。

「働いていた居酒屋の閉店が決まったタイミングで、知人から『人手が足りない』と誘われたのがきっかけです」。

当時、デルタ総研という会社を知っていたわけではない。しかし、自身の店の閉店と知人の誘いという予期せぬ転機が、伊藤の背中を押した。未知の世界へ飛び込むことに大きな迷いはなく、「やってみるか」と、新たなキャリアの幕開けを決意したのである。

知識ゼロからの挑戦。
独学と対話で乗り越えた壁

入社後、待ち受けていたのは専門的な知識の壁だった。携帯電話の基地局がどのような仕組みで動いているのか、全くわからない。まずは、インターネットで専門用語や関連企業のホームページを調べることから始めた。しかし、独学だけでは現場の業務に対応できず、そこで重要になったのが周囲との対話だった。



▲プライベートでわんこそばに挑戦

「調べてもわからないことは、業務と関連づけながら、周りの先輩方に直接教えてもらうようにしていました」。

この経験は、入社前に抱いていた「1人で黙々と作業する」という IT 業界へのイメージを覆す。実際には多様な関係者との連携が不可欠であり、技術力だけでなく高度なコミュニケーション能力が求められることを痛感した。

伊藤は、会社の制度も積極的に活用し、さらなる知識の向上に努めた。自身で目標を設定する MBO の中で「Python」の基礎認定資格の取得を目標に掲げ、見事に達成したのだ。資格取得時の報奨金や、目標達成が昇進・昇給の評価につながる。その仕組みが、学習への大きなモチベーションになったという。

失敗から得た確信、 相手に寄り添う対話がチームの礎に

入社から約2年後、早くもチームリーダーを任される。飲食店の責任者として培った対話力を発揮する一方で、マネジメントの難しさに直面した。大切にしていたチームのメンバーが退職してしまったのだ。

なぜ、メンバーは辞めてしまったのか。自問自答の末、コミュニケーション不足だったと結論づけた。業務上の会話はあっても、相手の悩みや不安のサインを見逃がしていたのだ。この苦い経験が、伊藤のリーダーシップを根本から変えることになる。

二度と同じ失敗はしないことを誓い、すぐに行動へ移した。

「業務の会話だけでなく、意識的に雑談を増やしました。声をかける頻度も増やし、メンバーの小さな変化に気づけるようにアンテナを張っています」。

相手の個性や状況を深く観察し、一人ひとりに合わせて言葉や言い回しを選ぶことも徹底した。失敗から学んだ、前兆を察知することの重要性と、相手に寄り添う姿勢。それが今、チームを支える強固な礎となっている。

経験を武器に未来を創る。 さらなる高みを目指す挑戦

現在、伊藤は課長代理として、自身のチームだけでなく、同じオフィス内で活動する4つのチーム、総勢11名を束ねる。社内外の人々と連携し、プロジェクト全体の推進力を担う。

しかし、伊藤は現状に満足することなく、視線はすでに次のステージへと向けられている。

「もし機会があるなら、プログラミングのような違う分野にも挑戦したいと考えています」。

その言葉通り、現在はさらに上のデータ分析資格の取得を目指し、自己研鑽を欠かさない。

飲食業界で培ったコミュニケーション能力を武器に、未経験の IT 業界でリーダーへと成長した伊藤。メンバーとの対話を重視し、自らも学び続けるその姿勢は、チームを、そして会社を牽引していく。



▲野球観戦にも行きます

＼ライフステージの変化は、キャリアの新たな可能性／

活躍ママ社員！

出産や育児は、キャリアを中断させるものではなく、新たな視点や強みをもたらししてくれる機会。法人サポート部で活躍する姫野さんの姿から、変化を乗り越え、自分らしく輝き続けるためのヒントを探ります。



法人サポート部
法人サポート1課
ひめの ゆり
姫野 祐里さん

産休・育休を経た現在の一日の流れ

3歳の子どもを育てながら、お客様先でヘルプデスク業務を担当。毎朝子どもを保育園に預け、神奈川の勤務先まで約1時間半かけて通勤しています。勤務は8:30～17:15で、退勤後は急いでお迎えに向かう日々。長い通勤時間もあり、毎日が時間との戦いです！

スムーズに復職できた理由

本来、産休・育休では一度現場を離れるのが通例。ですが、幸いにも産休前のお客様から「また戻ってきてほしい」と声をかけていただき、同じ環境で復職できました。育休前のお客様との関係づくりが今につながっていると感じています。子どもの急な発熱で早退するなど、独身の頃のようにはいかない難しさもありますが、それでもお客様に寄り添う姿勢は変わらず大切にしています。

限られた時間で成果を出すための工夫

「私がいなくてもわかる」仕組みづくり

限られた時間で成果を出すため、時間の使い方を強く意識しています。特に心がけているのが、**突発的な休みでも業務が滞らない情報共有**です。物の置き場所への付箋や、Teamsでの状況共有など、「私がいなくてもわかる」仕組みを整備。過去に他の人が不在で困った経験が、この工夫のきっかけになっています。



仕事と家庭の両立を支える デルタ総研のサポート

今の上司や同僚はお子さんがいる方も多く、子育てへの理解が深いため、急な早退の際も快く送り出してくれます。サポートしてもらえる環境は、精神的にとってもありがたいもの。だからこそ、日頃から丁寧な情報共有を心がけています。周囲との良好な関係が、両立の大きな支えです。

今後の目標

常に将来を見据えて スキルアップを

今後の目標は、システム開発も担えるようPower Automate関連の資格を取得し、キャリアの幅を広げること。将来的には在宅勤務も視野に入れています。後に続く皆さんも、「将来、自分を必要としてもらえるように」という視点で今の業務に取り組んでいただきたいと思います。そして何より、**社内外での「人との関わり」を大切に**してください。それが、いざというときに自分を助ける力になります。

先輩の頼れる一言

法人サポート部
法人サポート1課
かぎやま まい

鍵山 舞さん

「業務の引き継ぎで精神的に追い詰められていたとき、先輩のあたたかい言葉に救われました」。その一言が心の余裕を生み、仕事への向き合い方を大きく変えるきっかけとなったエピソードをご紹介します。

直面した大きな壁

業務の引き継ぎのプレッシャーで……

2025年の5～6月、異動される先輩の後任として業務の引き継ぎを行っていました。担当する現場は対応すべき業務量が非常に多く、覚えることも山積み。日を追うごとにやらなければならないことが増え、精神的に余裕がなくなっていました。そしてある日、お客様から「丁寧に説明しているのに、何を言っているのかわからない」という厳しい一言が。精神的にもかなりまいっていました。

壁を乗り越える契機となった一言

頼もしかった「何かあれば自分が言う」

お客様とのやり取りで追い詰められている様子を、前任者の金村秀勇（かねむらひでとし）さんが見かけて声をかけてくれました。「何かあったら自分が言うので、何かあればすぐ言ってください」と。それ以外にも「時間をいくらでも割きますから、なんでも聞いてください」と、**何度も頼りがいのある言葉をかけてくださいました**。弱っていた心に響いたことを今でも鮮明に覚えています。

壁を乗り越えての変化

「頼れる存在」で状況が好転

金村さんの言葉のおかげで、最終的に頼らないようにしたいけれど、「何かあったら頼れる」という心の余裕が生まれました。また、お客様への対応の仕方も「こういうふうに返答して良いよ」と事前にアドバイスをいただいていたため、それをもとにうまく切り返しができるようになり、仕事が好転していきました。

今後の目標

先輩の姿を追いかけ、 周りに手を差し伸べられる人に

金村さんは情報処理能力が非常に高く、常に広い視野で周りを見ている方です。私のサポートをしながら、同時に別の方のフォローも淡々とこなす姿を見て、その視野の広さに憧れています。まずは今の業務を一人で完璧にこなせるようになることが目標ですが、いずれは金村さんのように周りを見て、困っている人に「大丈夫？」と声をかけられる先輩になりたいと思います。



リゾートトラスト 福利厚生のご紹介

リゾートトラスト株式会社が運営する会員制リゾートホテル「東京ベイコート倶楽部」「サンクチュアリコート」「エクシブ」のスイートグレードまで、非常にリーズナブルな会員価格でご利用いただけます。「使用してみようかな」と思った方は必見です！

対象施設

各東京ベイコート倶楽部、
各サンクチュアリコート、各エクシブ。

費用

宿泊料：1室11,000円～（施設・グレードにより変動）
※会社補助はなく、全額自己負担となります。
※食事代は別途必要です。

よくある質問

Q 清算は前払いですか？

A 後払いです。

Q 1か月以上早く予約すれば、予約は取りやすくなりますか？

A 変わりません。予約は宿泊日の1か月前から一斉に開始されます。

家族などの利用

当社の従業員が宿泊する場合、ご家族やご友人も同行者としてご利用いただけます。

利用方法

所定の申請用紙に必要事項を記入し、宿泊希望日の1か月前までに、宮下部長および服部までご提出ください。

Q 予約が取りやすい時期はいつですか？

A 各施設のシーズンオフや平日が比較的予約しやすくなっています。

例：箱根（1月～3月）、
日光（12月～3月初旬）、
軽井沢（11月末～4月）など



エクシブ湯河原離宮



エクシブ箱根離宮



エクシブ蓼科